

エンジニアリングシンポジウム2018 お申し込み方法

当協会のWEBサイトからお申し込みください。

<http://www.ena.or.jp/seminar/34860>

WEBサイトの受付登録画面は個人受付専用となっております。

企業・団体の皆様は複数一括の申し込みをされる場合は、WEBサイトから「複数申し込み用紙」をダウンロードし、E-mailにてシンポジウム事務局 (sympo-admin@ena.or.jp) までお申し込みください。

大学生・大学院生の皆様はWEBサイト内「学生キャリア支援」からお申し込みください。

http://www.ena.or.jp/seminar_etc/34862

申込み先着順で限定50名様を無料でご招待いたします。交通費は各自でご負担ください。
なお、講演会後の交流会へのご参加はご遠慮ください。

学生
キャリア
支援



【お申し込み締切】 2018年10月23日(火) 17:00

学生参加無料(限定50名)

参加費(シンポジウム&交流会 消費税込み) 9,720円

お申し込み受付後請求書を郵送しますので、指定口座にお振込みください。
お振込みいただいた参加費はご返金できませんので、予めご了承ください。

各種認定ポイントの 発給について

終日参加の場合、発給ポイントは以下のとおりです。

CPU:5.5ポイント

PDU:5.5PDU

シンポジウム当日、3階総合受付にて証明書を発行致します。

会場のご案内

日本都市センター会館

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
Tel:03-3265-8211

交通アクセス

地下鉄	有楽町線	麹町駅半蔵門方面 1番出口より徒歩4分
	有楽町線	永田町駅 9b番出口より徒歩3分
	半蔵門線	5番出口より徒歩4分
	南北線	
	銀座線	赤坂見附駅 7番出口より徒歩7分
JR	丸ノ内線	赤坂見附駅 7番出口より徒歩7分
	中央線	四ツ谷駅 麹町出口より徒歩17分
都バス	平河町2丁目「都市センター前」下車 (新橋駅～市ヶ谷駅～小滝橋車庫前)	
首都高速	霞が関出口より 5分	



総合受付は3階になります。当日、講演資料集をお渡し致します。

お問い合わせ先

一般財団法人エンジニアリング協会

エンジニアリングシンポジウム事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19(虎ノ門マリンビル10階)

TEL: 03-5405-7201(代表) FAX: 03-5405-8201

E-mail: sympo-admin@ena.or.jp

協会設立
40周年
記念

一般財団法人エンジニアリング協会 ENA

エンジニアリングシンポジウム 2018

Change for the Sustainable Future

～ひとと世界を創り続けるエンジニアリング～

2018年10月26日(金) 日本都市センター会館

招待講演

脱炭素・エネルギー革命時代
におけるJERAの取り組み

垣見 祐二

株式会社JERA
代表取締役社長



特別講演

夢があるから強くなる

川淵 三郎

公益財団法人 日本サッカー協会
相談役(キャプテン)



主催：一般財団法人エンジニアリング協会

後援：経済産業省

協賛：独立行政法人国際協力機構 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 独立行政法人日本貿易振興機構 株式会社国際協力銀行 株式会社日本貿易保険
国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 国立大学法人名古屋工業大学産学官連携機構
公立大学法人産業技術大学院大学 一般財団法人日本エネルギー経済研究所 一般財団法人海外投資情報財団 一般財団法人企業活力研究所
特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会 (順不同)

学生参加無料 各講演に無料で
ご参加いただけます。
(交流会除く)

Change for the Sustainable Future

～ひとと世界を創り続けるエンジニアリング～

午前の部(開場9:00)

エネルギー・環境 A会場(3F コスモスI)

9:30~10:50 **A-1**

2050年に向けたエネルギーシステムの脱炭素化と分散化

藤井 康正

東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻 教授

将来のエネルギーシステムにおける脱炭素化と分散化(脱集権化)を実現するために、従来から様々なアイデア(再エネ、原子力、水素、CO₂回収、マイクログリッドなど)が提案されていますが、それらに関する少なからずの課題なども認識され始めています。本講演では、エネルギーモデルによるシミュレーションの結果を踏まえて、最近注目を集めつつある新アイデア(余剰電力の熱利用、大気中CO₂直接回収、電力のデジタル化など)を紹介し、2050年に向けたエネルギーシステム構築の展望を示したい。



11:10~12:30 **A-2**

北極：資源と環境のエンジニアリング

中澤 直樹

システム工学研究所株式会社 取締役社長

1960年代に北極圏で化石資源の埋蔵が確認されて以来、極寒地域における資源開発のための氷工学や凍土工学の研究が進みました。初期は氷や凍土の物理的・力学的性質の研究が主でしたが、80年代には構造物に対する氷力や凍土の問題、耐寒材料などに関する基礎的研究が進みました。これらの研究成果が現在の氷海構造物、パイプライン、砕氷船などの構造物の建設・建造につながっています。一方、気象変動の影響による海水や凍土の減少は、北極域での資源開発や新航路開拓を可能にした反面、地球規模の環境問題を提起しています。北極の資源開発と環境問題をエンジニアリング(工学)研究の視点から考えます。



技術・イノベーション B会場(3F コスモスII)

9:30~10:50 **B-1**

THE AGE OF SUPER SENSING ～ 拡張する感覚と産業技術の未来

中川 聡

一般社団法人スーパーセンシングフォーラム 代表理事

私たちの感覚や思考は私たちが考える以上に、広大で深遠な可能性を秘めています。人間が有する五感を拡張し、期待以上の性能や感性をもたらす新産業技術の開発研究を目指してセンサーからAIプロセス、アクチュエーターまで先端の技術をより人格に近い存在としてデザインし、実現する事が求められています。それらの実践的アプローチとして掲げるスーパーセンシングの思考と技術への展望と可能性について様々な研究事例を紹介しながら解説します。



11:10~12:30 **B-2**

道路・橋梁インフラ事業の海外展開 ～長大吊橋建設プロジェクトで得られた経験を踏まえて～

川上 剛司

株式会社IHIインフラシステム 代表取締役社長 /
株式会社IHI 執行役員

2016年、IHIインフラシステム(以下、IIS)は、トルコ共和国のオスマン・ガズィー橋のEPCプロジェクトを1社単独で施工し、42ヶ月という短工期で開通させました。本橋は世界第4位の吊橋です。日本では2000年を境に主だった大型橋梁建設プロジェクトが激減しました。長大橋建設技術を継承し事業を継続していくためには海外市場への参画が不可欠です。IISは、現地に基盤のあるパートナーとの協業を深め、世界の道路・橋梁インフラ市場における競争力強化を図っています。ここでは、プロジェクト遂行で得られた経験と昨今の海外インフラ戦略について紹介します。



ひと創り C会場(5F オリオン)

9:30~10:50 **C-1**

チームづくりにおける コミュニケーションの重要性

橘田 恵

履正社スポーツ専門学校北大阪校
履正社高等学校 女子硬式野球部 監督 / 侍ジャパン女子代表 監督

2018年8月WBSC女子野球ワールドカップに日本は大会6連覇をかけ出場。侍ジャパン女子代表として選ばれた20名は、女子プロ野球、社会人、大学、高校と異なる4つのカテゴリー所属の選手で構成されます。書類選考、トライアウト、合宿を経て選手を選考。その後、5日間の強化合宿を経て決戦の地アメリカへ向かいました。短期でのチームづくり、世界での戦い方、コミュニケーション。様々な点において日本がリーダーシップをとり、女子野球は日本が世界を牽引するという強い決意の下、選手・指導者・スタッフ、一人ひとりがそれぞれの自覚を持ち、やりがいと責任を感じながら『結束』していくには…。



11:10~12:30 **C-2**

すごい会議の技術 ～使う言葉が会社の未来を変える～

尾崎 理恵

株式会社スリーマインド 代表取締役

会議は経営、マネジメントそのものであり、会社の文化やDNAが現れています。私は、今まで様々な企業の経営会議に入らせていただき、この重要な経営の場、つまり会議の場、で使われる言葉、コンテキスト、グラウンドルールを変えることで、経営に違いが起こるのを目の当たりにしてきました。どのようにすれば会議が情報共有やコメントの交換の場ではなく、メンバーからの積極的なアイデアや提案がどんどん出てくる場になるのか。どのようにすればハイスピードで問題解決がなされ意思決定ができるのか。圧倒的に熱量高く効果的な会議を、社内外で実施するための技術をお伝えします。



午後の部(開場13:30)

協会挨拶 3F コスモスホール

13:50~14:00

大下 元

一般財団法人エンジニアリング協会 理事長(JFEエンジニアリング株式会社 代表取締役社長)

招待講演 3F コスモスホール

14:00~15:30

脱炭素・エネルギー革命時代における JERAの取り組み

垣見 祐二

株式会社JERA 代表取締役社長

エネルギーの世界は今、大きな変革の時代を迎えています。脱炭素化に向け、再エネは拡大し、石炭・LNG等の火力発電は縮小するとの見方もあります。火力発電は将来生き残れるのでしょうか。一方で資源分野に目を向ければ、米国のシェール革命はエネルギーの世界を大きく変えつつあります。今後世界のLNGビジネスはどう変化するのでしょうか。また、大きく変化するエネルギービジネスの中で、火力発電のエンジニアリングの現場には、大きな可能性があります。火力発電の現場での改善やIoTへの対応を含め、JERAの取り組みを皆様にご紹介いたします。



特別講演 3F コスモスホール

15:50~17:20

夢があるから強くなる

川淵 三郎

公益財団法人 日本サッカー協会 相談役(キャプテン)

Jリーグを立ち上げ、日本サッカー協会会長として日本サッカーの強化とスポーツの振興に取り組んで来た経験を活かし、日本バスケットボール界の改革を主導。制裁解除から新リーグ・B.LEAGUE創設までの経緯について。これまでの改革を通じて、スポーツ界の組織の在り方や物事の考え方についてお話いたします。また、日本トップリーグ連携機構会長として、日本のボールゲーム9競技・12のトップリーグと協会の改革について、更には2年後に控えた2020東京オリンピック・パラリンピックをどう成功させるのか、「ポスト2020」をどう考えていくべきなのか、その展望も語ります。



交流会 5F オリオン

17:30~19:00

講演終了後に参加者相互の交流と懇親の場を設けております。

お飲み物・軽食等もご用意しておりますので、参加者による情報や意見交換、ネットワークづくりなどにご活用いただければ幸いです。